

# 「禁止条約参加署名」推進ニュース

発行：原水爆禁止日本協議会 電話:03 - 5842 - 6031 2023年  
FAX:03 - 5842 - 6033 E メール：antiatom55@hotmail.com 10月23日

## 署名を集めてNYへ！～TPNW 第2回締約国会議参加者の決意～

11月27日から12月1日までニューヨークの国連本部で開催される核兵器禁止条約第2回締約国会議・日本原水協代表団に参加する皆さんから、決意を寄せてもらいました。



私の平和運動、核兵器廃絶運動の出発点は、大学1年生のときに参加した原水爆禁止世界大会の長崎大会です。日本は世界に誇るべき平和憲法を持っている、日本は唯一の戦争被爆国であると知っているだけではなく、被爆者の心の叫びを直接聞いたこと、そして同世代の若者をふくめ、核兵器廃絶のために行動する世界諸国民が日々、各国政府への働きかけをおこない、国際行動に立ちあがっていることに、驚きと感動を覚えたのでした。

世界の核兵器をめぐる情勢は劇的に変化しています。何より、核兵器禁止条約が誕生したことでしょう。署名国は93カ国、批准国は69カ国とお聞きしています。一方で、ロシアによるウクライナ侵略、イスラエルによるパレスチナへの大規模侵攻が発生する事態もあります。

問題は、これらの事態に、世界は、人類は、どう対応すべきかだと思います。間違いなく、世界の主流は、核兵器廃絶、抑止力論からの脱却であり、平和の国際秩序づくりであると確信します。人類は、二度にわたる世界大戦を経験し、紆余曲折はありながらも、戦争を違法化し、核兵器禁止条約を生み出したのです。

今回の第2回締約国会議に代表団の一員として参加させていただくことになりました。世界の流れを肌で感じ、直面する日本の戦争国家づくりを許さないたたかいに臨みたいと思います。

(日本共産党前参議院議員・武田良介)

神奈川県は、首都東京と隣接しており、日本で第二の人口を抱える県です。しかも、県内には、原子力空母の母港である横須賀基地、厚木基地をはじめ「核軍事同盟」を担う米軍の重要基地があり、ビキニ被災の三崎港もあり、原発燃料を製造するGNF-1（横須賀）もあり、「いずも」



の空母化改修も横浜のジャパンマリンユナイテッド磯子工場でおこなっているのです。さらに、今年から来年にかけて米軍基地「横浜ノースドック」に揚陸艇部隊の配備がすすめられています。

神奈川県原水協では、こうした危険な状況下に置かれているからこそ、原水協の役割も特別に重大であるにとらえ、「禁止条約参加署名」についても「県内10万人分の早期達成と50万人分に挑戦する」という目標を立ててとりくんできました。今年9月になんとか10万を突破しましたが、まだまだ大県として役割を十分に果たせていないと感じています。

こうした状況を打開し、飛躍をかちとるために、今年の世界大会の成果と教訓を学び、「禁止条約参加署名」の「50万人分に挑戦」を正面にとらえ、今年中に15万人分、ビキニデーまでに20万人分というテンポを決め、新署名ポスター、新ハガキ付き署名リーフ、署名用紙をあらためて加盟団体や地域原水協に大量におろし、機関会議などで学習と意思統一をすすめているところです。

まずは、国連軍縮週間や11月の6・9行動を軸に、「第3次署名提出行動」「TPNW第2回締約国会議」にむけて、条約批准署名を積み上げていきたいと決意しています。

(神奈川県原水協事務局長・三井靖広)

**国連軍縮週間を署名の全国行動に**

**行動計画をお寄せください**